

熊本県農業農村整備事業ICT活用工事計画書

チェック欄	施工プロセスの段階	作業内容	採用する技術番号	技術番号・技術名
<input checked="" type="checkbox"/>	①3次元起工測量			1. 空中写真測量(無人航空機)を用いた起工測量 2. 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 3. トータルステーションを用いた起工測量 4. トータルステーション(ノンプリズム方式)を用いた起工測量 5. RTK-GNSSを用いた起工測量 6. 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 7. 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 8. その他の3次元計測技術を用いた起工測量 [8. を選択した場合の技術名称:]
<input checked="" type="checkbox"/>	②3次元設計データ作成			※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データは含まない。
<input checked="" type="checkbox"/>	③ICT建設機械による施工	<input type="checkbox"/> 掘削工 <input type="checkbox"/> 盛土工 <input type="checkbox"/> 路体盛土工 <input type="checkbox"/> 路床盛土工 <input type="checkbox"/> 路面整形工 <input checked="" type="checkbox"/> ほ場整備整地工 <input checked="" type="checkbox"/> 基盤整地及び簡易整地		1. 3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術 2. 3次元マシンコントロール(バックホウ)技術 3. 3次元マシンガイダンス(ブルドーザ)技術 4. 3次元マシンガイダンス(バックホウ)技術 ※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲(別途平面図等)については、受注後の協議により決定する。 ※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ICT建設機械を活用すれば良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	④3次元出来形管理等の施工管理	<input checked="" type="checkbox"/> 出来形 <input checked="" type="checkbox"/> 品質		1. 空中写真測量(無人航空機)による出来形管理技術 2. 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3. トータルステーションによる出来形管理技術 4. トータルステーション(ノンプリズム方式)による出来形管理技術 5. RTK-GNSSによる出来形管理技術 6. 無人航空機搭載型レーザースキャナーによる出来形管理技術 7. 地上移動体搭載型レーザースキャナーによる出来形管理技術 8. その他の3次元計測技術による出来形管理技術 [8. を選択した場合の技術名称:] 9. TS-GNSSによる締め回数管理技術(土工) 注4)品質管理をしない理由 []
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤3次元データの納品			

注1)ICT活用工事の詳細については、「ICT活用工事試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注2)採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。
 (「採用する技術番号」欄の記載例 : 「1」、「1, 3」)

注3)①、④において、「8. その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注4)品質管理(締め回数管理)をしない場合は、理由を記載すること。
 (理由例:「掘削工のみのため。」「土質が頻繁に変わり、その都度試験施工を行うことが非効率であるため。」等)